

# 鹿児島県競技力向上計画2024

(令和6年度(2024)～令和10年度(2028))

## 趣旨

「かごしま国体」に向けて取り組んだ成果を踏まえ、高い水準に押し上げられた本県の競技力や組織体制を一過性のものとせず、次世代へ継承していく。

## 基本方針

- 1 「かごしま国体」の成果を引き継ぎ、競技水準を維持し、競技力向上対策を継続する。
- 2 全国さらには世界の舞台で活躍できる人材を育成する取組を推進する。
- 3 地域に根ざした競技の強化により、地域住民との一体感・連帯感を醸成する。

## 重点項目

- 1 競技団体組織の更なる充実
- 2 指導者の資質向上
- 3 アスリートの発掘・育成・強化
- 4 競技力向上のための環境整備

## 目標

国民スポーツ大会の天皇杯順位  
⇒ 10位台 (R6, R7)  
20位台 (R8～R10)

## かごしま国体の成果

### 【組織】

- 各競技団体の組織の整備や強化
- 各競技団体内の組織的な意思決定や透明性の確保など、ガバナンス及びコンプライアンスの向上 等

### 【選手強化体制・選手の強化等】

- 各競技団体の核となる指導者の養成
- 医師会や民間団体等との連携によるスポーツ医・科学面からのコンディショニングサポート体制の確立
- 中央競技団体との連携体制の構築
- 施設利用や全国レベルの選手との合同練習など鹿屋体育大学との連携
- 全種別一丸となった「チームかごしま」としての強化体制の確立
- ターゲットエイジの競技人口拡大と一貫指導体制システムの確立
- 有望選手（ふるさと選手等）の確保・強化
- 全国強豪チームとの対外試合等による経験値の増加及び戦略的強化 等

### 【競技環境・支援体制】

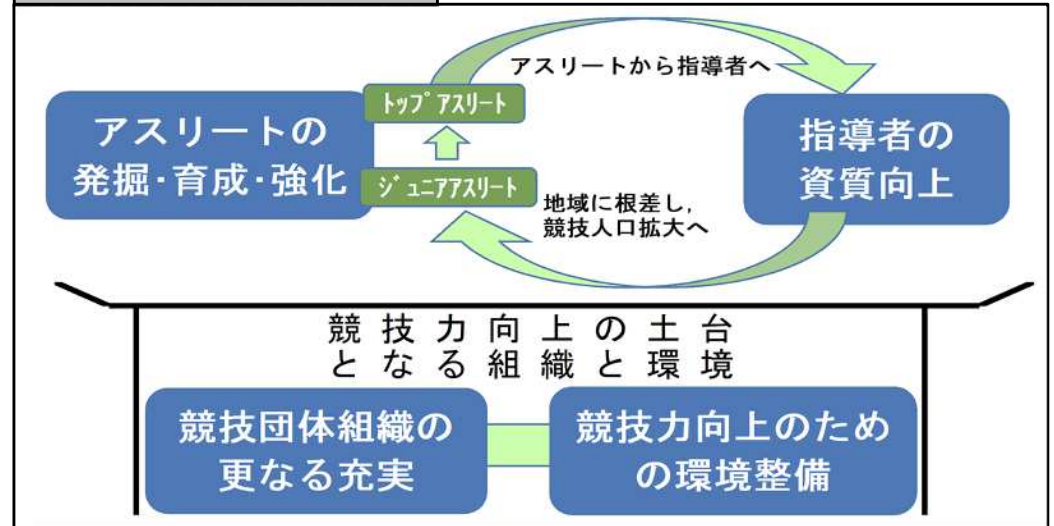
- 競技団体と市町村、学校、企業等との連携強化による協力体制の構築
- 選手との交流による郷土意識や一体感の醸成
- 国体に向けて整備されたスポーツ施設、設備等の効果的な活用
- 国体を契機としたトップレベル選手等との各競技団体の結びつき 等

# 【概要版】

## 次世代への継承

「かごしま国体」で得られた成果を次世代へ継承する。育成・強化されたアスリートが各種大会等で活躍し、競技生活終了後に指導者として県内の次世代アスリートを育成する競技力向上の長期的な好循環を生み出すため、各競技団体等と連携を図りながら、競技力向上の土台となる組織と環境を充実させ、アスリートの発掘・育成・強化と指導者の資質向上を推進していく。

## 長期的な好循環のイメージ



## 具体的な取組

### 【競技団体組織の更なる充実】

- 1 競技団体組織の更なる充実、指導体制への支援
- 2 競技団体のガバナンス構築とコンプライアンス徹底
- 3 競技団体へのスポーツ医・科学面からのサポート

### 【指導者の資質向上】

- 1 競技団体の核となる指導者のスキルアップ
- 2 指導者養成と資質向上
- 3 指導者の資格取得の推進

### 【アスリートの発掘・育成・強化】

- 1 かごしまジュニアアスリートの発掘・育成・強化
- 2 トップアスリートの確保・強化
- 3 高められた競技力の維持、継続的な強化活動の支援
- 4 地域に根ざし、鹿児島の特長となる競技の強化

### 【競技力向上のための環境整備】

- 1 鹿屋体育大学と連携したスポーツパフォーマンスの向上
- 2 コンディショニングサポートの充実
- 3 特殊競技の基盤整備対策
- 4 アスリートの就職支援
- 5 スポーツに対する意識の高揚
- 6 国体を契機とした開催市町、強化拠点地域との連携強化